



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社 十六銀行
コード番号 8356 URL <http://www.iuroku.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

(氏名) 堀江 博海
(氏名) 秋葉 和人
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 058-265-2111

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	29,810	△3.5	5,724	65.4	4,395	19.8
25年3月期第1四半期	30,893	△1.0	3,461	△2.8	3,669	8.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 380百万円 (△79.1%) 25年3月期第1四半期 1,816百万円 (△77.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.76	10.12
25年3月期第1四半期	9.82	9.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,698,093	312,392	5.1
25年3月期	5,667,799	313,373	5.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 290,142百万円 25年3月期 291,559百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,500	△6.0	6,700	△16.7	5,400	△74.0	14.15
通期	109,500	△5.4	14,000	2.9	10,200	△56.0	26.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	379,241,348 株	25年3月期	379,241,348 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	5,532,318 株	25年3月期	5,516,641 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	373,717,234 株	25年3月期1Q	373,748,255 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		5.50	—	5.50	11.00

(注1) 25年3月期(通期)の第1種優先配当金額は、11円に平成24年9月18日から平成25年3月31日までの日数を乗じ、365で除して算出した金額であります。

(注2) 25年3月期第2四半期の第1種優先中間配当金額は、上記第1種優先配当金額の2分の1に相当する額であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
・追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
(1) 損益状況【単体】	7
(2) 「金融再生法ベースのカテゴリによる開示」	
【単体】【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）との比較】	8
(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	9
(4) 預金等（譲渡性預金を含む）、貸出金の残高	
【単体】【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）との比較】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、「アベノミクス」による円安・株高を受け、輸出に持ち直しの動きがみられ、個人消費の一部が増加しました。

当行の主要な営業基盤である岐阜・愛知両県におきましても、主要産業である自動車関連や一般機械を中心に生産が増加し、企業収益が改善しました。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、役員取引等収益が増加したものの、貸出金利息の減少により資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比 10 億 83 百万円減少し 298 億 10 百万円となりました。経常費用は、与信関係費用が増加したものの、営業経費が減少したこと、および有価証券関係損失が減少したことなどから、前年同期比 33 億 46 百万円減少し 240 億 86 百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比 22 億 63 百万円増加し 57 億 24 百万円となり、四半期純利益は前年同期比 7 億 26 百万円増加し 43 億 95 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金等（譲渡性預金を含む）につきましては、低コストかつ長期安定的な資金を調達するとの観点から、地域に密着した積極的な営業展開を行い、個人、法人を中心に増強をはかりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の預金等残高は、前連結会計年度末比 148 億 54 百万円減少し 5 兆 1,179 億 54 百万円となりました。

貸出金につきましては、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とする個人向け融資に積極的に対応するとともに、地方公共団体向け融資の取扱いに努めました。この結果、個人向け融資は増加したものの、企業向け融資は減少したことから、当第1四半期連結会計期間末の貸出金残高は、前連結会計年度末比 715 億 96 百万円減少し 3 兆 5,751 億 36 百万円となりました。

有価証券につきましては、国債、地方債等の引受、購入のほか、相場環境を注視しつつ、資金の効率的運用のための債券等の売買を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の有価証券残高は、前連結会計年度末比 1,328 億 77 百万円増加し 1 兆 6,048 億 61 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 5 月 13 日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

・追加情報

当行は、平成 25 年 6 月 27 日開催の第 238 期定時株主総会の決議により、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給を実施いたしました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額未払分 362 百万円については「その他負債」に含めて表示しております。

なお、連結子会社については従来どおり、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち、当第1四半期連結会計期間末までに発生していると認められる額を「役員退職慰労引当金」として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
現金預け金	328,715	295,500
コールローン及び買入手形	60,000	62,985
商品有価証券	1,230	1,085
金銭の信託	10,620	10,563
有価証券	1,471,984	1,604,861
貸出金	3,646,732	3,575,136
外国為替	5,711	5,257
リース債権及びリース投資資産	40,563	40,439
その他資産	39,962	39,706
有形固定資産	66,017	65,658
無形固定資産	10,532	10,122
繰延税金資産	3,360	5,463
支払承諾見返	25,733	25,906
貸倒引当金	△43,364	△44,591
資産の部合計	5,667,799	5,698,093
負債の部		
預金	5,001,048	5,039,042
譲渡性預金	131,760	78,912
コールマネー及び売渡手形	—	1,045
債券貸借取引受入担保金	48,915	83,859
借入金	72,314	61,406
外国為替	379	1,511
社債	10,000	10,000
その他負債	41,840	63,872
賞与引当金	1,688	—
役員賞与引当金	64	—
退職給付引当金	9,986	9,875
役員退職慰労引当金	431	4
睡眠預金払戻損失引当金	301	263
偶発損失引当金	1,232	1,309
繰延税金負債	36	—
再評価に係る繰延税金負債	8,691	8,691
支払承諾	25,733	25,906
負債の部合計	5,354,425	5,385,701
純資産の部		
資本金	36,839	36,839
資本剰余金	47,815	47,815
利益剰余金	148,804	151,831
自己株式	△1,515	△1,521
株主資本合計	231,943	234,965
その他有価証券評価差額金	45,996	41,558
土地再評価差額金	13,618	13,618
その他の包括利益累計額合計	59,615	55,177
少数株主持分	21,814	22,250
純資産の部合計	313,373	312,392
負債及び純資産の部合計	5,667,799	5,698,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	30,893	29,810
資金運用収益	18,820	17,669
(うち貸出金利息)	14,295	13,143
(うち有価証券利息配当金)	4,456	4,425
役務取引等収益	3,847	4,104
その他業務収益	6,645	5,824
その他経常収益	1,579	2,212
経常費用	27,432	24,086
資金調達費用	1,662	1,523
(うち預金利息)	1,340	1,255
役務取引等費用	1,416	1,383
その他業務費用	5,072	4,823
営業経費	16,340	14,425
その他経常費用	2,940	1,930
経常利益	3,461	5,724
特別利益	1,542	19
固定資産処分益	—	19
負ののれん発生益	1,542	—
特別損失	10	62
固定資産処分損	10	37
減損損失	0	—
持分変動損失	—	25
税金等調整前四半期純利益	4,993	5,681
法人税、住民税及び事業税	1,448	653
法人税等調整額	△581	227
法人税等合計	867	880
少数株主損益調整前四半期純利益	4,125	4,800
少数株主利益	456	405
四半期純利益	3,669	4,395

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,125	4,800
その他の包括利益	△2,309	△4,420
その他有価証券評価差額金	△2,309	△4,420
四半期包括利益	1,816	380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,407	△42
少数株主に係る四半期包括利益	409	422

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

当行の平成26年3月期第1四半期の概要について、下記のとおりお知らせします。

なお、当行は、株式会社岐阜銀行（以下「岐阜銀行」という。）を平成22年12月に子会社化し、平成24年9月18日を効力発生日として吸収合併いたしました。以下の一部計数において、合併前後の計数比較に資するため、合併後の当行【単体】計数と過去の両行合算計数との比較を【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）との比較】として記載しております。

また、当第1四半期末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。

(1) 損益状況【単体】

平成26年3月期第1四半期の業績につきましては、コア業務純益は4,653百万円（第2四半期累計期間業績予想値8,900百万円の52%）、経常利益は4,932百万円（第2四半期累計期間業績予想値5,700百万円の87%）、四半期純利益は4,277百万円（第2四半期累計期間業績予想値5,300百万円の81%）となり、概ね業績予想のとおり順調に推移しております。

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第1四半期 (A)	平成26年3月期 第1四半期 (B)	増 減 (B-A)	平成25年3月期 実績(12ヵ月)
[]内は第2四半期累計期間の業績予想値				
経常収益 [43,500 百万円]	21,323	23,692	2,369	85,757
業務粗利益	17,590	18,230	640	69,165
(コア業務粗利益) (注1)	(16,813)	(18,187)	(1,374)	(68,196)
資金利益	15,206	16,111	905	61,098
役務取引等利益	1,435	1,777	342	6,301
その他業務利益	948	340	△ 608	1,766
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	(777)	(42)	(△ 735)	(969)
経費	12,993	13,533	540	51,515
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 217	△ 151	66	△ 2,472
業務純益 [5,600 百万円]	4,815	4,848	33	20,122
コア業務純益 (注2) [8,900 百万円]	3,819	4,653	834	16,680
臨時損益	△ 2,097	87	2,184	△ 9,202
不良債権処理額 ②	1,125	1,926	801	10,622
貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—	—
償却債権取立益 ④	9	1	△ 8	10
(与信関係費用 (①+②-③-④))	897	1,772	875	8,139
株式等関係損益	△ 1,806	993	2,799	942
その他臨時損益	825	1,018	193	466
経常利益 [5,700 百万円]	2,716	4,932	2,216	10,910
特別損益	△ 9	△ 16	△ 7	3,455
うち抱合せ株式消滅差益	—	—	—	2,163
うち負ののれん発生益	—	—	—	2,127
うち減損損失	0	—	△ 0	556
税引前四半期(当期)純利益	2,706	4,916	2,210	14,365
法人税等合計	614	638	24	△ 9,436
四半期(当期)純利益 [5,300 百万円]	2,092	4,277	2,185	23,802

(注1) コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益（5勘定戻）

(注2) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益（5勘定戻）

(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

【単体】

金融再生法ベースの開示債権は、24年6月末比21,155百万円増加し147,277百万円となりました。
 総与信に占める割合は、24年6月末比0.30ポイント上昇し4.02%となりました。
 また、部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合は、3.73%となります。

(単位：百万円)

	24年6月末	25年6月末	25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,712	19,606	17,578
危険債権	92,280	114,219	115,834
要管理債権	16,130	13,451	13,133
合計	126,122	147,277	146,547
総与信に占める割合	3.72%	4.02%	3.93%

- (注) 1. 平成25年6月末の計数は、6月末基準の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
 2. 当行は、部分直接償却を実施しておりません。
 なお、部分直接償却を実施したと仮定した場合の金融再生法ベースの開示債権は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	24年6月末	25年6月末	25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,636	8,780	8,819
危険債権	92,280	114,219	115,834
要管理債権	16,130	13,451	13,133
合計	116,046	136,451	137,788
総与信に占める割合	3.44%	3.73%	3.70%

【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）との比較】

金融再生法ベースの開示債権は、24年6月末比6,048百万円増加し147,277百万円となりました。
 また、総与信に占める割合は、24年6月末比0.31ポイント上昇し4.02%となりました。

十六銀行（岐阜銀行統合ベース）

(単位：百万円)

	24年6月末	25年6月末	25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19,547	19,606	17,578
危険債権	104,884	114,219	115,834
要管理債権	16,798	13,451	13,133
合計	141,229	147,277	146,547
総与信に占める割合	3.71%	4.02%	3.93%

- (注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。
 なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

その他有価証券の評価差額は、24年6月末比30,415百万円増加し61,917百万円となりました。

(単位：百万円)

	24年6月末				25年6月末				25年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1,148,461	31,502	40,797	9,294	1,550,712	61,917	69,573	7,656	1,416,890	68,727	72,630	3,903
株式	74,714	10,506	15,565	5,059	108,053	44,523	47,365	2,842	98,628	34,380	37,766	3,385
債券	980,516	22,660	22,899	238	1,290,669	16,734	19,435	2,700	1,192,554	30,264	30,411	146
その他	93,230	△1,663	2,331	3,995	151,989	659	2,772	2,113	125,708	4,082	4,453	371

(注) 1. 「評価差額」は、期末時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

	24年6月末				25年6月末				25年3月末			
	帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	45,186	194	356	161	39,978	171	280	108	40,877	239	348	108
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 預金等(譲渡性預金を含む)、貸出金の残高

【単体】

預金等は、24年6月末比786,042百万円増加し5,145,129百万円となりました。
貸出金は、24年6月末比281,159百万円増加し3,590,397百万円となりました。

(単位：百万円)

	24年6月末	25年6月末	25年3月末
預金等(未残)	4,359,087	5,145,129	5,157,535
うち個人預金等	2,908,270	3,473,085	3,419,911
貸出金(未残)	3,309,238	3,590,397	3,657,358
うち消費者ローン	964,101	1,184,502	1,173,207

(ご参考) 個人預り資産残高(単体)

(単位：百万円)

	24年6月末	25年6月末	25年3月末
預金等	2,908,270	3,473,085	3,419,911
投資信託	102,938	153,681	155,839
公共債	148,195	125,176	130,423
個人年金保険等	287,919	333,533	326,164
合計	3,447,323	4,085,477	4,032,338

【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)との比較】

預金等は、24年6月末比168,547百万円増加し5,145,129百万円となりました。
貸出金は、24年6月末比134,737百万円減少し3,590,397百万円となりました。

(単位：百万円)

	十六銀行(岐阜銀行統合ベース)		25年3月末
	24年6月末	25年6月末	
預金等(未残)	4,976,582	5,145,129	5,157,535
うち個人預金等	3,405,560	3,473,085	3,419,911
貸出金(未残)	3,725,134	3,590,397	3,657,358
うち消費者ローン	1,145,143	1,184,502	1,173,207

(注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。
なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(ご参考) 個人預り資産残高(十六銀行(岐阜銀行統合ベース)との比較)

(単位：百万円)

	十六銀行(岐阜銀行統合ベース)		25年3月末
	24年6月末	25年6月末	
預金等	3,405,560	3,473,085	3,419,911
投資信託	132,391	153,681	155,839
公共債	150,876	125,176	130,423
個人年金保険等	308,240	333,533	326,164
合計	3,997,069	4,085,477	4,032,338